

各地区の取り組み



↑
←防犯パトロール
↓

地域の防犯意識が高まる中、不審者の出没や犯罪の発生を未然に防ぎ、子どもたちの安全を守ろうと、各地区ではさまざまな防犯の取り組みが行われています。

- 防犯パトロールの腕章やジャンパーなどを身につけた防犯ボランティアが各学校と連携し、登下校の時間帯や夏休みなどに行う、子どもたちへの見守り活動や声かけ運動。
- 青色回転灯や防犯パトロールステッカーを装着した車両が、地域を巡回して不審者がいないか見回る巡回パトロール。
- 子どもたちにとって危険だと思われる場所を掲載した防犯マップの作成、配布。
- 子どもたちへの「子ども110番の家」の周知。
- 立て看板、ポスターの設置や広報車を利用した住民への防犯意識の啓発。

このほか、区内の企業でも、業務車両に防犯を呼びかけるステッカーを張ったり、店内の見回りといった防犯活動に取り組んでいます。

『子どもたちを犯罪から守りたい』という強い気持ちから、区内では地域の防犯ボランティア、町内会連合会や町内会、各学校や企業などさまざまな団体・個人によって防犯活動が展開されています。

しかし、こうした防犯活動が地域に根付いて、子どもたちの安全を守るためには、より多くの皆さんの防犯活動への参加、協力が必要です。

子どもたちの笑顔を絶やさないためにも、買い物、散歩の際の子どもたちへの見守り、不審者がいないかの目配りなど、ちょっとしたことから防犯活動に取り組んでみませんか。

～安全・安心なまちづくりのために～



子どもを守る清田区の取り組み

「もしかしたら皆さんのすぐそばにも…」
近ごろ、新聞やニュースでもよく取り上げられています。不審者による子どもへの犯罪が後を絶ちません。

こうした現状を受け、清田区では行政、地域を挙げて子どもたちを犯罪から守ろうと、さまざまな防犯活動に取り組んでいます。

そこで区内で実施している防犯活動の取り組みとともに、子どもたち自身が犯罪から身を守るにはどうしたらよいか、併せてご紹介します。

防犯マップ→



↑防犯パトロール
腕章・ステッカー



広告欄